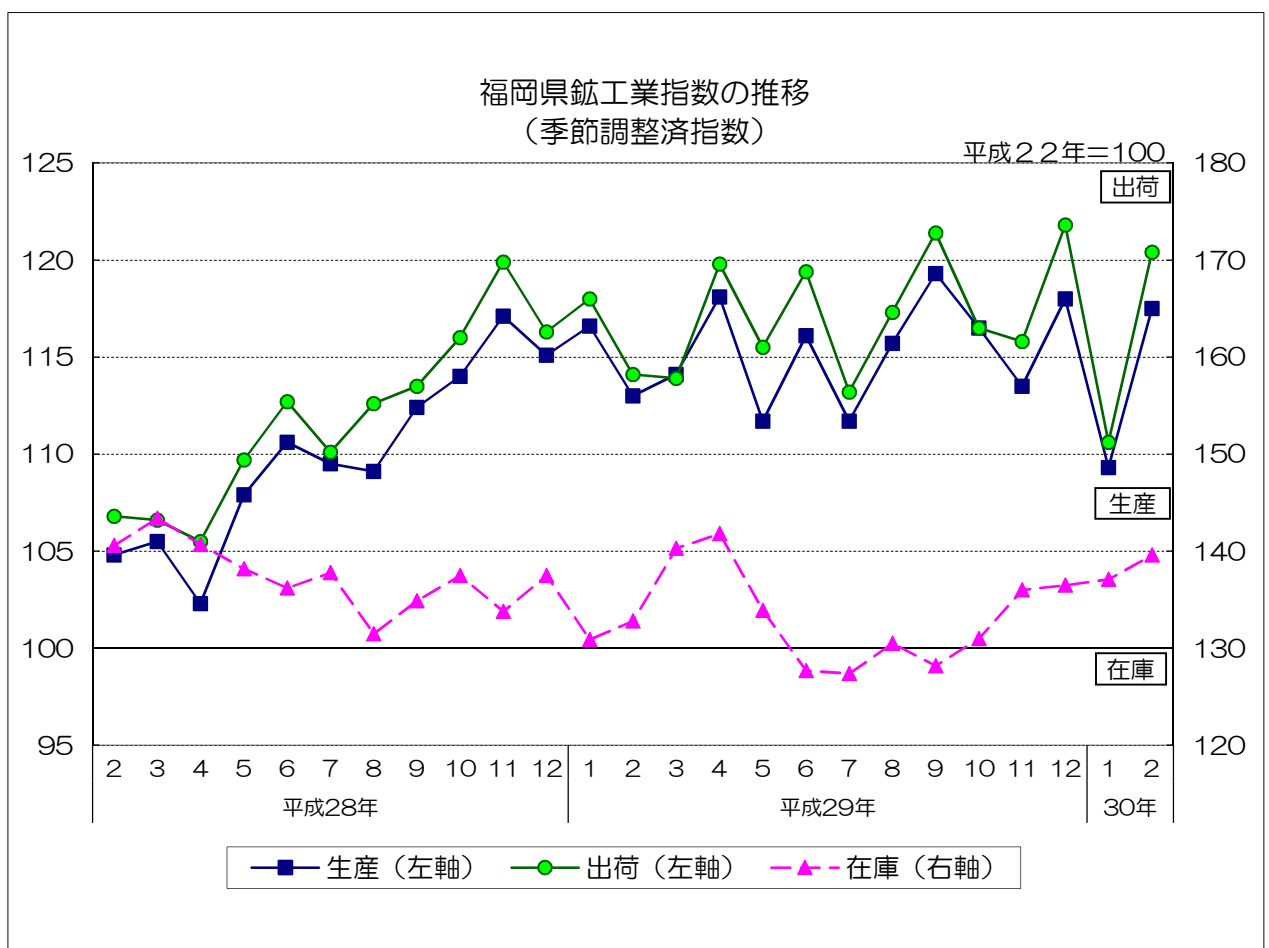


平成22年基準

福岡県鉱工業指数月報

(平成30年2月)



福岡県鉱工業指数 利用上の注意

1. 基準年次
平成22年（2010年）を基準年とする。
2. 作成の範囲
日本標準産業分類の鉱業及び製造業を基礎とした産業の生産指数（付加価値額ウェイト）、生産者出荷指数及び生産者製品在庫指数について、原指数と季節調整済指数を作成した。
3. 分類
日本標準産業分類を基本とした業種分類と、採用品目の用途により財別に格付けした特殊分類の2通りの方法によっている。
4. 採用品目
生産指数及び生産者出荷指数は187品目、生産者製品在庫指数は118品目である。
5. ウェイト
生産、出荷及び在庫指数の各品目のウェイトは、基準年次の付加価値額、生産者出荷額及び生産者製品在庫指数の鉱工業全体に対する一万分比である。
6. 作成の方法
総合算式は、基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式）である。
7. 季節調整
季節調整の方法は、センサス局法を使用している。
季節調整済指数とは、原指数を季節指数で割ることによって、季節変動を除去した系列のことである。
8. 統計表中の符号
「-」：該当する数値がない場合
「0.0」：数値が単位未満の場合
「▲」：マイナスの場合
「x」：秘匿の場合
9. 資料
経済産業省生産動態統計調査、その他既存の資料及び県調査による。

平成30年2月の鉱工業指数

概況

○ 平成30年2月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比7.5%上昇の117.5、出荷が同8.9%上昇の120.4、在庫が同1.8%上昇の139.6となった。

(1) 生産			
季節調整済指数	:117.5	で前月比7.5%上昇	(2か月ぶりの上昇)
原指数	:115.9	で前年同月比5.0%上昇	(2か月ぶりの上昇)
(2) 出荷			
季節調整済指数	:120.4	で前月比8.9%上昇	(2か月ぶりの上昇)
原指数	:118.7	で前年同月比6.5%上昇	(2か月ぶりの上昇)
(3) 在庫			
季節調整済指数	:139.6	で前月比1.8%上昇	(5か月連続の上昇)
原指数	:133.8	で前年同月比5.1%上昇	(2か月連続の上昇)

○ 前月比（季節調整済）	[上昇]	[横ばい]	[低下]
生産（19業種中）	: 12業種	0業種	7業種
出荷（19業種中）	: 14業種	1業種	4業種
在庫（18業種中）	: 11業種	2業種	5業種

(1) 九州・全国との比較

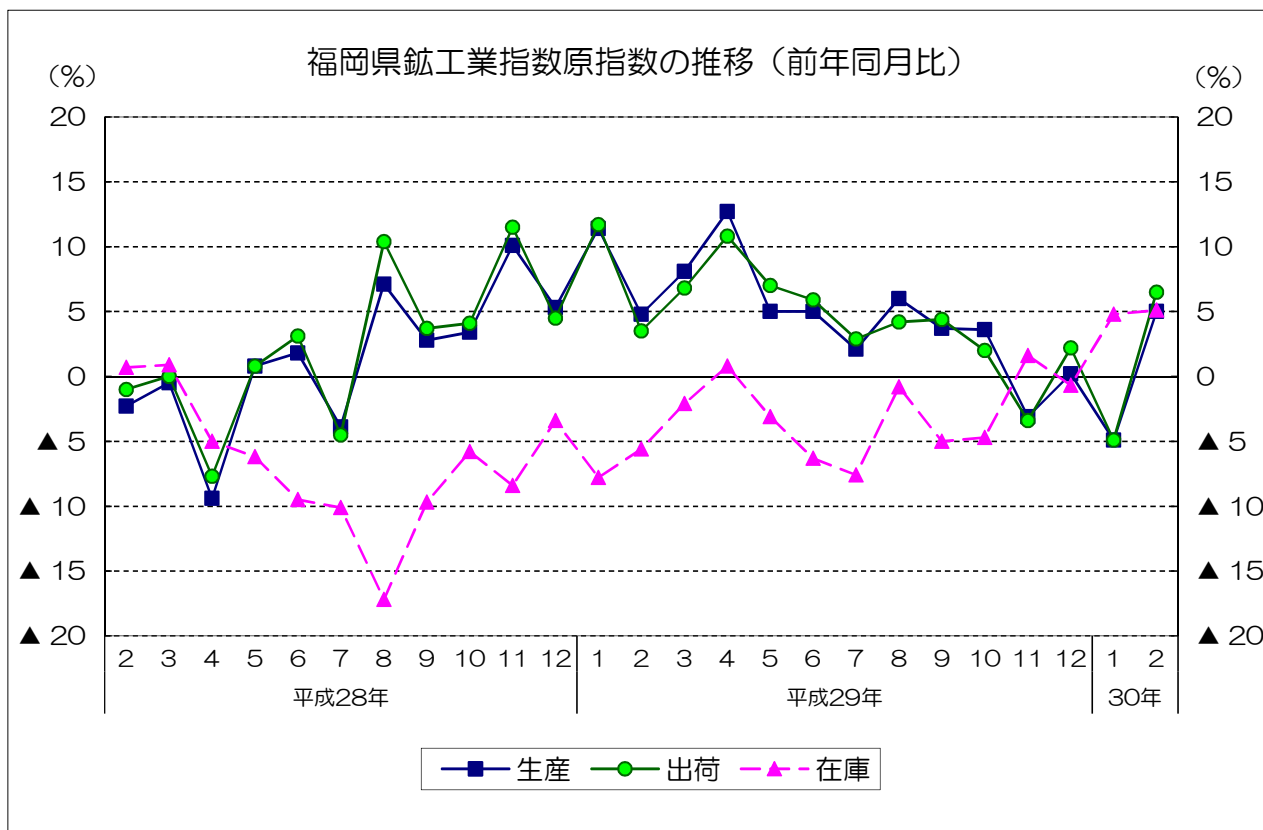
（平成22年=100）

		季節調整済指数		原指数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	117.5	7.5	115.9	5.0
	出荷	120.4	8.9	118.7	6.5
	在庫	139.6	1.8	133.8	5.1
九州	生産	108.7	4.5	104.7	▲ 1.4
	出荷	112.6	2.5	108.2	0.7
	在庫	123.7	0.1	125.2	9.4
全国	生産	102.7	2.0	100.2	1.6
	出荷	100.3	1.6	98.1	0.7
	在庫	109.9	0.5	111.1	1.6

(2) 前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
輸送機械工業 電子部品・デバイス工業 はん用・生産用機械工業 鉄鋼業 金属製品工業 電気機械工業 家具工業 印刷業 繊維工業 石炭製品工業 ゴム製品工業 鉱業	食料品・たばこ工業 プラスチック製品工業 化学工業 窯業・土石製品工業 木材・木製品工業 パルプ・紙・紙加工品工業 非鉄金属工業

(3) 原指数の推移



(4) 四半期別指数の推移

平成22年=100

		生産		出荷		在庫	
		季節調整済 指数	前期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)
28年	10~12月期	115.4	4.6	117.4	4.7	137.5	1.9
29年	1~3月期	114.6	▲0.7	115.3	▲1.8	140.3	2.0
	4~6月期	115.3	0.6	118.2	2.5	127.7	▲9.0
	7~9月期	115.6	0.3	117.3	▲0.8	128.2	0.4
	10~12月期	116.0	0.3	118.0	0.6	136.5	6.5
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
28年	10~12月期	117.3	6.3	120.4	6.6	134.2	▲3.4
29年	1~3月期	113.4	8.0	114.5	7.2	127.6	▲2.1
	4~6月期	112.1	7.4	114.0	7.9	127.5	▲6.3
	7~9月期	116.9	3.8	118.2	3.8	135.9	▲5.0
	10~12月期	117.5	0.2	120.7	0.2	133.2	▲0.7

※在庫の数値は期末値。

全業種・主要8業種の動向

(平成30年2月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は117.5(季節調整済)となり、前月と比べると、食料品・たばこ工業、プラスチック製品工業などが低下したが、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、総合で前月比7.5%上昇(前年同月比5.0%上昇)となった。
- (2) 出荷指数は120.4(季節調整済)となり、前月と比べると、食料品・たばこ工業、繊維工業などが低下したが、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、総合で前月比8.9%上昇(前年同月比6.5%上昇)となった。
- (3) 在庫指数は139.6(季節調整済)となり、前月と比べると、はん用・生産用機械工業、石炭製品工業などが低下したが、金属製品工業、食料品・たばこ工業などが上昇したため、総合で前月比1.8%上昇(前年同月比5.1%上昇)となった。

○ 主要8業種の動向

[生産]

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	9.8	1.1	亜鉛めっき鋼板、鋳鉄铸件 等
金属製品	7.8	10.5	ガス湯沸器、鉄骨、スチール又はステンレスシャッター 等
はん用・生産用機械	7.2	11.1	鉄鋼用ロール、クレーン、バルブ・コック 等
電子部品・デバイス	21.7	34.7	トランジスタ 等
輸送機械	18.0	6.6	四輪自動車 等
窯業・土石製品	▲4.1	▲8.0	ほうろろ鉄器、セメント 等
化学	▲3.5	▲5.8	ポリカーボネート 等
食料品・たばこ	▲1.9	▲2.9	発泡酒(その他雑酒含む)、めん類 等
総合	7.5	5.0	—

[出荷]

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	10.6	2.8	特殊鋼熱間圧延鋼材、軌条・外輪、鋼板 等
金属製品	5.0	11.6	鉄骨、ガス湯沸器、金網 等
はん用・生産用機械	11.2	15.8	産業用ロボット部品・付帯装置、鉄鋼用ロール、バルブ・コック 等
電子部品・デバイス	12.8	31.8	トランジスタ 等
輸送機械	17.8	6.4	四輪自動車 等
窯業・土石製品	7.2	7.5	耐火れんが 等
化学	0.8	▲10.0	医薬品、ポリカーボネート 等
食料品・たばこ	▲1.6	▲4.3	発泡酒(その他雑酒含む)、焼酎、めん類 等
総合	8.9	6.5	—

[在庫]

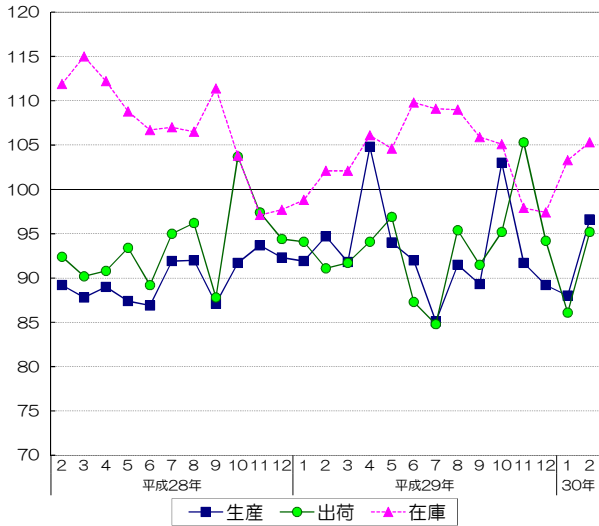
業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	1.9	3.1	冷延広幅帯鋼、冷延電気鋼帯、H形鋼 等
金属製品	7.6	15.3	飲料用缶、スチール又はステンレスシャッター 等
はん用・生産用機械	▲8.7	1.6	シヨベル系掘削機 等
電子部品・デバイス	22.7	77.0	線形回路 等
輸送機械	0.4	7.3	四輪自動車
窯業・土石製品	▲11.8	25.4	耐火れんが 等
化学	4.1	▲0.4	ビスフェノールA、触媒、ナフタリン 等
食料品・たばこ	6.3	1.2	焼酎、ビール 等
総合	1.8	5.1	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

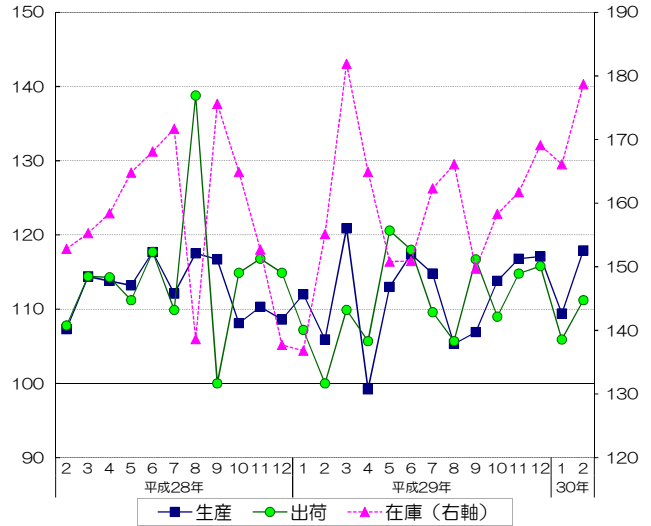
主要8業種別指数の推移（季節調整済・平成22年=100）

○ 内は、生産指数のウェイト

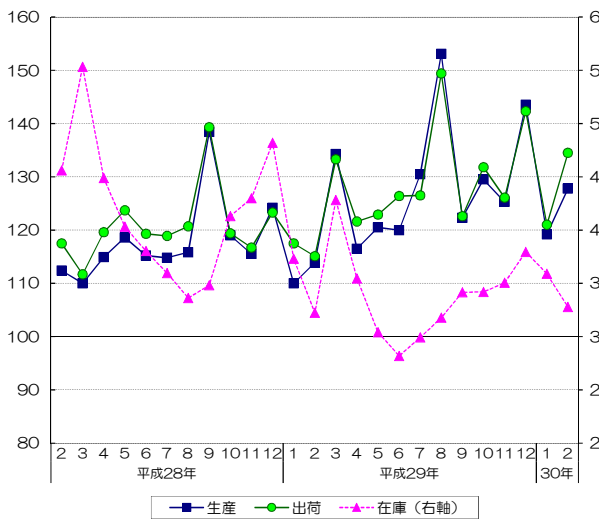
鉄鋼業 (w=770.9)



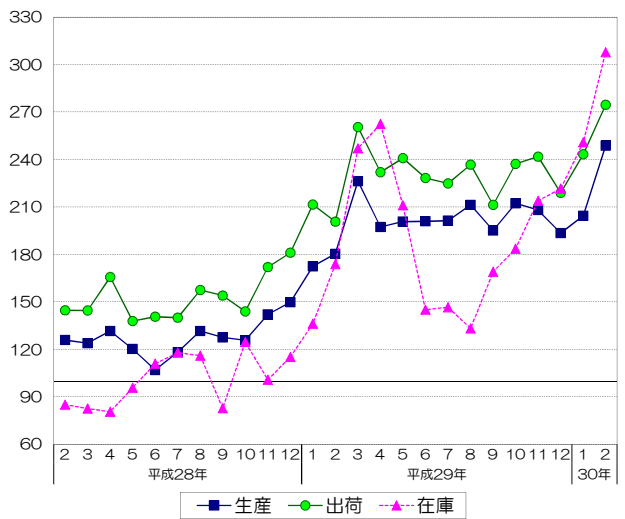
金属製品工業 (w=588.7)



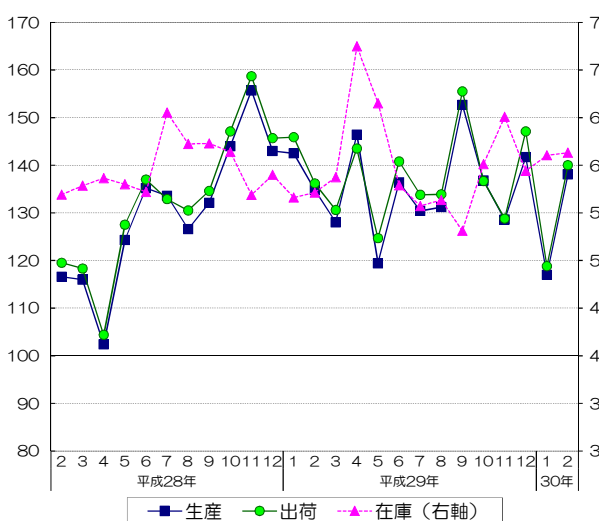
はん用・生産用機械工業 (w=776.0)



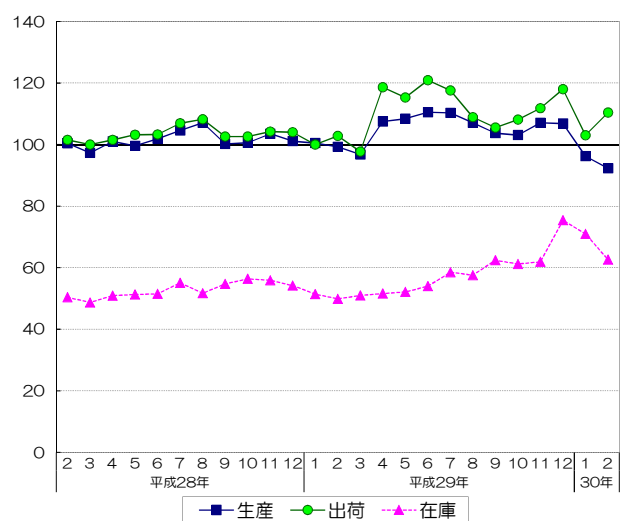
電子部品・デバイス工業 (w=345.0)

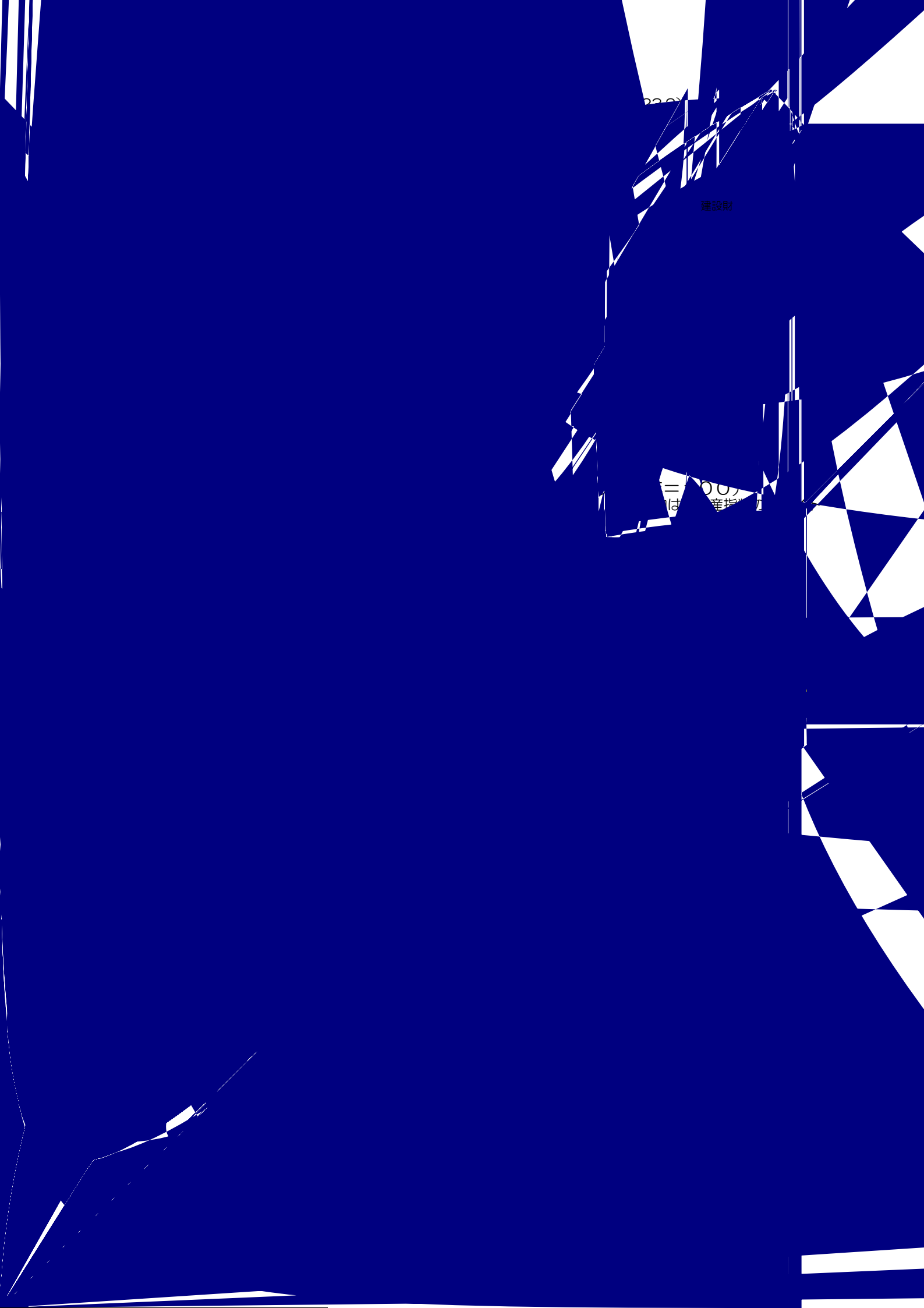


輸送機械工業 (w=3112.3)



窯業・土石製品工業 (w=381.9)





建設財

二〇〇〇
は 産指

平成22年基準 福岡県鉱工業指数月報
(平成30年2月)

福岡県企画・地域振興部調査統計課
代 表 (092) 651-1111

直 通 (092) 643-3190
F A X (092) 643-3192
e-mail chosa@pref.fukuoka.lg.jp